

	A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	K	L
1	基礎知識・理論コース											
2	A インテリアデザインを豊かにする知識(1)											
3	モジュール番号	第 回 授業	配信日	テーマ	学習項目	コマ数	内容1	内容2	内容3	内容4	内容5	
4	A	1	1	20170412	入学ガイダンス	カリキュラム、学習方法とルール	1	スケジュール	コースルール	カリキュラム紹介		
5	A	2	1	20170412	英国のインテリアデザインマーケット	デザインマーケットとプロの活躍	1	ロンドンの世界デザイン市場における位置付け。なぜロンドンが経済学的に重要なのか。	インテリアデザイナーがなぜ存在し、なぜ重要な職業なのか。その歴史は。	BIIDデザイナー達のビジネスモデル。どうして市場を牽引できる集団なのか。トップデザイナーの役割。	コースが目指すもののインテリア市場の拡大ガラバゴスインテリアからの脱却	日本でもセオリーを理解し、スキルを持ち、作品で勝負できる本物のセレブデザイナーを
6	A	3	2	20170419	デザインプロセスの理解	BIIDデザイナーが主導的役割で行うプロジェクトとプロセスの理解	1	デザインプロセスの理解	プロとしてどのように伝えるのか。デザインプロセスを共有することの重要性。	クライアントとしてどう理解するのか。クライアント視線からの理解。		
7	A	4	2	20170419	英国のインテリアデザインマーケット	インテリアデザイナー、建築家、プロの協業の在り方	1	英国におけるプロの協業の実際とその有効性に関する理解	なぜ協業で素晴らしい家ができるのか	日本で協業の可能性を広げるための職能と職域	クライアントの立場で最もふさわしい協業の在り方を知る	
8	A	5	3		日欧市場比較	マーケットの成立、戦後の復興、政策が分けた日英のインテリア市場の違い。そこが分かれば進むべき方向性が見える。	1	住宅寿命、住宅市場、中古市場、建築とデザインの関係、その成り立ちの違いをまず理解する。	戦後の住宅政策が作り出した日本の間取りとインテリアの悲劇	なぜモダニズム建築だけが規範となってしまったのか。	住宅政策による市場拡大の事例、イタリアとイギリスの成功例。	住宅の寿命が延びた時、市場がどう変化するのか。長期優良住宅の日本での取り組み。
9	A	6	3		デザイナーとしての知識と眼を磨く	デザイナーとしての知識と眼を磨く	1	デザインはどこから来るのか、デザインの種の幅広さを知る	真似ごとでなく、何々風でなく、本物を目指す重要性	デザインの軸、デザインの幹を作る手法で、揺るがない大木を花開かせる	デザインの領域を広げる手法。雑誌、ウェブ映像を素材に。	デザインコンセプトの重要性と実際、その作り方
10	A	7	4		デザイン史	覇権史、芸術全般を全方位的に考察することで、その時代のインテリアへの真の理解を達成	1	歴史チャートから読み取るもの。なぜ全方位的な歴史理解がインテリアに必要なのか。	ギリシャ	ローマ	初期キリスト教	ビザンチン
11	A	8	5		デザイン史	覇権史、芸術全般を全方位的に考察することで、その時代のインテリアへの真の理解を達成	1	ロマネスク	ゴシック	ルネッサンス	バロック	
12	A	9	6		デザイン史	覇権史、芸術全般を全方位的に考察することで、その時代のインテリアへの真の理解を達成	1	ロココ	新古典主義	エンパイヤー	ピーダマイヤー	
13	A	10	7		デザイン史	覇権史、芸術全般を全方位的に考察することで、その時代のインテリアへの真の理解を達成	1	ゴシックリバイバル	折衷主義	リージェンシー	ヴィクトリアン	
14	A	11	8		デザイン史	覇権史、芸術全般を全方位的に考察することで、その時代のインテリアへの真の理解を達成	1	アーツアンドクラフツ	アールヌーボー	キュビズム	アールデコ	
15	A	12	9		デザイン史	覇権史、芸術全般を全方位的に考察することで、その時代のインテリアへの真の理解を達成	1	モダニズム	ミッドセンチュリー	ポストモダニズム	ミニマリズム	北欧スタイル
16	A	13	10		デザイン史	近年人気のスタイルの理解	1	エクレクティックスタイル	インダストリアルスタイル	シャビーシックスタイル	マスキュリンスタイル	姫系スタイル

	A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	K	L
17	A インテリアデザインを豊かにする知識(2)											
18	モジュール番号	第 回	授業	配信日	テーマ	学習項目	コマ数	内容1	内容2	内容3	内容4	内容5
19	A	14	10		デザイン史	ファッションとインテリアの関連性の理解	1	ファッションとインテリアのトレンドや時代への関連性	ファッションレーベルのインテリアへの進出	ライフスタイルブランドとしてのインテリアアプローチ	ファッションレーベルのマーケティングから学べるもの	
20	A	15	11		ジャポニズム	美術工芸史とその地理的理解、日本の伝統工芸	1	日本デザインの歴史的評価	ジャポニズムの誕生	近代から現代における日本デザインの世界への影響	Zenデザインの欧州での発生と発展、その系譜	現代の日本人デザイナー達の世界での活躍
21	A	16	11		ジャポニズム	美術工芸史とその地理的理解、日本の伝統工芸	1	日本の伝統工芸の理解	伝統工芸のインテリアにおける可能性	自らのプロジェクトにどう生かすか	伝統工芸を訪ねる	伝統工芸使用例研究
22	A	17	12		デザインとサステイナビリティ	欧州で重要視されるサステイナビリティ、サステイナビリティを理解	1	サステイナブル理論の基礎。	インテリアデザインへの応用とは。	トレンドに見るサステイナブル事例研究	サステイナブルをキーワードに、豊かな暮らしを取り戻そう。	日本の伝統工芸のサステイナブルな発展へ
23	A	18	13		デザインとスタイル	欧州インテリアトレンドの理解	1	欧州インテリアトレンドのダイナミズム	インテリアトレンドの重要性と意味	インテリアトレンドを読む	インテリアトレンド分析 London	
24	A	19	13		デザインとスタイル	欧州インテリアトレンドの理解	1	インテリアトレンド分析 Paris	インテリアトレンド分析 Milan			
25	A	20	14		アートとトレンド	欧州デザイン市場におけるアートのトレンド	1	欧州アート市場のダイナミズム	アートにおけるトレンド	なぜアートが重要か。アートなしでは空間は完成しない。	アートレイアウトのセオリーと実際	アートが作り出す様々な空間
26	A	21	14		デザイナーとしての知識と眼を磨く	特別な商材を見つける	1	ストーリーを持つ商材が入るとどうデザインが発展するのか	メーカー研究とトレードアカウント	イタリ一流商材	欧州一流メーカー	ロンドンの超一流メーカーの理解
27	A	22	15		英国のインテリアデザインマーケット	家の歴史と人々の暮らし	1	英国人にとってのインテリアとは。なぜここまで情熱を傾けるのか。	英国のインテリアデザイン市場。なぜここまで大きくなったのか。	英国の住宅にある間取りのスタンダード。なぜスタンダードが生まれたのか。その大きな意義は。	英国の歴史建築とその保護の在り方。なぜそこまで古いものを大切にするのか。	古い建築のリノベーションに関する基本理解
28	A	23	16		ライフステージとデザイン	高齢化社会のインテリアを考える	1	ライフステージによるインテリア。人生と共に成熟させるインテリアの在り方を学ぶ。	英国人のヤドカリライフスタイル、高齢者の実際。高齢者こうあるべき的縛りを外す重要性。	人生の最後こそ一番素敵な住まいで。そこでは最上級の素材を使いたい。	ゴミ屋敷にしない。ほんとに大切なものだけに囲まれて暮らす暮らし。	人生を成熟させたデザインを介するプロと作り上げたマンションにより売り上げ急増。事例研究。
29	A	24	17		デザインは投資	投資としてデザインを考えると、英国の市場が見えてくる	1	住宅が投資対象になるとはどうか。ロンドンには誰が投資？日本ではどうなる？	なぜフィーが支払われるのか、明らかに利益を生むからこそ人はデザインにお金を払う。	リノベーション、リフォーム投資とは。賢い投資方法とは。	スタイリング、ステージングテクニック	インテリア投資によってドラマティックに価値を上げた事例紹介
30	A	25	18		ホテルが牽引するデザイナーマーケット	ホテル専門家でもある澤山乃莉子がロンドンのホテルデザインを徹底分析	1	ロンドンで生まれたホテルデザインの2大潮流とは。	ブティックホテルの派生と発展。ブティックホテルが生まれる都市こそがデザインの震源地。	ロンドンキーホテルのデザイン分析とそこでのセブデザイナー達の挑戦。	日本でのブティックホテルの可能性と、デザイナーが果たす役割。	ブティックホテルデザインが日本の住宅インテリアを変えていく。
31	A	26	18		英国のインテリアデザインマーケット	オリンピックレガシーとデザイン産業、デザインディストリクトの隆盛。	1	ロンドンオリンピックが市場の拡大にもたらした真のレガシーとは。	デザインディストリクトの発展に拡大にもたらした真のレガシーとは。	ライフスタイルの転換。働き方より、サステイナブルタウンが誕生。その意味とは。	事例研究、貧しいロンドンイースト地域のデザイン震源地への大転換。	文化の再興とオリンピックの大きな関連性。日本でもオリンピックをインテリア産業発展の契機に。
32						コマ数	26					

	A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	K	L
33	B インテリアセオリー											
34	モジュール番号	第 回 授業	配信日	エリア	テーマ	学習 項目	コマ数	内容1	内容2	内容3	内容4	
35	B	1	19	空間	最も基本となる空間への理解	1	インテリアセオリー セオリーとは何か。なぜ重要か。	洋の空間と和の空間の根本的な違いを理解する	洋空間の基礎理論 洋空間をどう作るか	間違いだらけの洋空間理解	美しい洋空間を知る。事例研究	
36	B	2	20	スペースレイアウト	スペースレイアウトとライフスタイル	1	英国のスタンダード間取りとレイアウトの意味。タウンハウスには、優れたセオリーが凝縮する。	住宅とライフスタイル (パブリックとプライベート、フォーマルとファミリー空間の考え方と関連性)	レイアウトセオリー アプローチ、エントランスホール、階段、廊下	レイアウトセオリー フォーマルリビングルーム、ダイニングルーム	レイアウトセオリー キッチン。食生活を中心としたファミリールーム	
37	B	3	20	スペースレイアウト	スペースレイアウトとライフスタイル	1	ライフスタイルを見直してみよう。常識にとらわれない空間レイアウトの可能性。	空間とレイアウト パスルーム、寝室とオンスイート、ゲストWC	内と外をつなぐ空間 コンサートバトリー、パティオ、テラスデッキ、バルコニー	自然光、外の景色を空間に採り入れる、その心理的効果の科学的理解	レイアウトセオリー 寝室、子供部屋、ゲストルーム、書斎、SOHOオフィス	
38	B	4	21	色	色彩 基礎と応用	1	色彩と空間の基礎理論	色彩の歴史と文化。歴史色に現れる色彩の地理的認識の違い。気候条件と色彩。	理論を外したところに真の実力が見える。色彩の応用。英国デザイナー達の挑戦。	カラーとトレンド。過去のトレンドリポートに見るトレンドカラーの変遷	色彩と年齢。それぞれの年齢条件により検討すべき項目が違ふ。	
39	B	5	21	色	色彩 事例研究	1	色彩事例にみる各色のパフォーマンス(赤、青、緑、黄色、アースカラー、金、銀、モノクロ他)	各色における事例研究。過去事例から、本当に使える色彩導入を研究。				
40	B	6	22	照明	照明の効果	1	照明の基礎理論	照明とマテリアルの関連性	照明の上級テクニックと世界の照明機器へのアクセス	窓の形状、自然光の採り入れ方と照明手法のバランス	照明の実例研究	
41	B	7	23	ソフトファニッシング	ソフトファニッシング	1	ソフトファニッシングの重要性と基礎。アイテムとバランスの理解	窓周りのセオリー	寝室のソフトファニッシングセオリー	リビングでのソフトファニッシングのセオリー	様々なテイストの可能性を実例研究	
42	B	8	24	マテリアル	ハードマテリアル	1	マテリアルの重要性	マテリアル、ペイント	マテリアル 床材 (木質系、タイル系)	マテリアル キャビネット面材	世界のトップデザイナーはマテリアルづかいも特別。マテリアルの事例研究	
43	B	9	25	マテリアル	ソフトマテリアル	1	マテリアル、カーペット	マテリアル、壁紙がつくり出す豊かな世界	壁紙の歴史と発展	重要メーカーの理解	震災復興壁紙プロジェクト 壁紙アートプロジェクト その意義と活動の重要性	
44	B	10	26	家具	家具	1	家具の構造の理解 良い家具の見分け方 米VS欧 ラインの見極め方	欧州、家具の歴史と派生まとめ	家具と建具の使い分けで空間にはもっと深みあるものに。収納見せる収納と隠す収納	イタリアがなぜ世界の産地になり得たのか。イタリア高級メーカーの2大潮流。世界的メーカー研究	家具の見極めのためには源流から。本物を見ることの重要性。日本にも家具美術館を。	
45	B	11	27	建具	建具	1	インテリアセオリー 建具	建具の領域と可能性	建具のスタイルとデザインスタイルの関連性	建具におけるディテールの作り方	英国のトップデザイナーの作り出す建具デザインの世界。実例研究。	
46	B	12	28	アンティーク	アンティークとヴィンテージ	1	インテリアセオリー アンティークとヴィンテージアイテムがつくり出す豊かな世界	コンテンポラリー空間といかに合わせるか	アンティークとヴィンテージを持つことの意味	サステナブルと修復、修繕、次世代に引き継ぐために	時代をエクレクティックに合わせる テクニックと事例研究	
47	B	13	29	フィニッシングタッチ	アクセサリとフィニッシングタッチ	1	インテリアセオリー フィニッシングタッチとスタイリングのセオリー	アートのオーリテを誇る欧州のラグ市場、そのダイナミズムとデザインにおける事例研究	インテリアにおける鏡の効果と重要性、そのダイナミックな使用例	テーブルトップコーディネーションの奥深い世界とその理解の必要性。食とライフスタイル。	フラワーアレンジメント、本、観葉植物、香り、映像と音楽など、暮らしを彩る仕掛けへの理解	
48	B	14	30	写真	写真撮影とスタイリング	1	プロによる写真撮影の重要性と。撮影現場におけるインテリアデザイナーの役割の理解	写真撮影の準備。小物や日照条件にも妥協しない。	インテリア写真撮影の基本テクニック。修正の基本テクニック。(フォトショップ、パワポ技術)	ビューとしてインテリアを観ることの重要性。その眼を養うことの重要性。	スタイリングメンタリティが家を美しくする	
49					コマ数	14						
50				基礎部門	総コマ数	40						